

高台だより

H25年11月号
No.342
発行責任者 栗原千秋
会員327世帯 全369世帯
ホームページは taka-dai.info
自治会設立 昭和61年4月
手をつなごう 高台自治会で
バックは菊

落ち葉清掃の季節となりました 日曜・水曜の7時半から実施します

高台のバス通りには、85本のナンキンハゼ(南京櫛)の街路樹があります。ナンキンハゼは、和蟬燻を作る蟬をこる木として知られ、春は瑞々しい新緑を、夏は爽涼の木陰を、秋は燃える綾錦を、そして冬は可憐な白い鈴なりの実をつけ、四季を通じて楽しんでくれます。しかし今年もそろそろ紅葉が始まり、道路には病葉(わくびは)が目立つようになりました。高台皆さんの共通の財産である街路樹の落葉を、多くの皆さんで清掃したいと思います。

落葉清掃は、下表のように入水曜日と日曜日の朝7時30分からで、作業時間は30分程度、雨天は中止です。掃除道具をお持ちいただき、近くのバス通りの落ち葉清掃をお願いします。

11月17日(日)
20日(水)
24日(日)
27日(水)
12月 1日(日)
4日(水)
8日(日)
11日(水)
帯・チリ取り・ゴミ袋 をご持参下さい



現在の南京櫛と 昨年の落ち葉清掃

部会等報告

集会所

●12月14日(土)10時からさくら会館「年末大掃除」を行います。普段できない会館の外壁などもきれいにし、1年の垢を落としたいと思います。皆さんの参加をお願いします。リーダーは、会館の外回り海野さん、屋内中西さん、水回りの藤田さんです。



昨年の年末大掃除と 改装なった玄関

●さくら会館のエントランスの改修工事が終わりました。これは過去玄関付近へ

年賀状印刷 を格安で

年賀状印刷を市価の半額でお受けします。デザインを選定いただき、ご希望であれば「宛名印刷」や年賀書準備もいたします。これは難病(注)の人たちに仕事を提供する嵐山にあるNPO法人の事業をサポートするためのものです。ぜひご支援をお願いします。ご希望の方は956-1976(後藤・留守番)(注)難病とは安倍首相やケネディが患った潰瘍性大腸炎など、指定された130の疾病のことです。この事業所には現在IT系の10名が在籍しています。京都新聞で紹介された記事です→



24日は防災訓練

11月24日(日)に「地震災害」を想定した高台の「防災・避難訓練」があります(下表参照)。広報車が回りますので、8時になりましたら近くの公園に訓練避難いただきたいと思います(公園の指定はありません)。2・3・4号公園にはリータとしてそれぞれ八木さん、中西さん、海野さんがいます。そのあと3号公園に集結ののち、「防災フェスタ」が開催される長四中グラウンドに向かいます。防災フェスタでは、「起震車体験」「けむり体験」「放水訓練」「ミニ消防車の写真撮影コーナー」「賞品付防災クイズ」などがあります。お楽しみもたくさんあります。是非親子でご参加ください。

美化衛生

●10月27日(日)に「公園除草」があり、77人の皆さんの参加をいただき、出たゴミ袋は98袋ありました。ご協力ありがとうございました。



5号公園の公園清掃

福祉

●赤い羽根募金にご協力いただきありがとうございました。189軒から10万3300円をお預かりしました。赤い羽根と歳末助け合いに分けて寄付いたしました。

生涯学習

★長五小生涯学習主催「大山崎の古跡を訪ねて」が10月26日(土)にあり、150名以上を越える参加希望者から抽選で選ばれた50名が参加しました。昭和の香りを残す「藤竹居」や千利休ゆかりの国宝「待庵」などを巡りました。好評のため来春にも同じ内容で実施します。



宝寺で重文閣魔王の説明

お知らせ

市主催の「人権講演会」が、11月19日(火)午後2時30分から4時まで、中央公民館で開催されます。今回はフリーアナウンサー桑原征平さんが「差別のない社会をめざして」と題して講演されます。申し込みは不要で当日会場までお越しください。



11月24日(日)	
8時00分	・訓練避難開始 近くの公園へ、点呼
8時30分	・全員で3号公園へ
9時00分	・希望者と防災フェスタの 開かれる長四中へ
9時30分	・避難・防災訓練開始(消 火訓練、トイレ設置等)
10時50分	・防災フェスタ(起震車、 防災クイズ等)
12時30分	・炊き出しぜんざい 試食 ・フェスタ終了

また「炊き出し訓練」もあり甘くて美味しいぜんざいのおもてなしもあります。なお高台は、炊き出しの担当、お手伝いいただける方を募集しています。お問い合わせの方は、栗原(954・6740)まで。

●自治会費下期分をお願いしていますが、会員327全世帯から入金いただきました。

会員動向

●転居退会
17B(南谷)4・12) 竹島 聡さん
7B(2)13・4) 川勝隆行さん
13B(3)4・5) 北尾 均さん

オトナリさんの独り言

2丁目 小笹 孝さん



私たちが夫婦は一男一女を授かり今年で結婚50年になります。長男は嵯峨に所帯を持ち、長女は私達が高台に引越す前に住んでいた桂の家を建て替えて住んでいます。長女は丈夫な子供でしたが、長男は小児喘息でした。しかし家内の親の代からのお付き合いのある能登半島の海沿いの家に長期ご回介になったお陰で症状は改善されました。私自身も夏の能登を幾度も訪れてお世話になった際に、能登外浦の家屋様式が気に入って、いつかはこのように家に住みたいと思うようになりました。私の亡父は物業女の出身ですが、高台の住宅地購入をいったところ、金が原は乙訓の北海道だ、と不満でした。確かに引越した当座はバスの便も悪く、とんでもない田舎だと感じましたが、住めば都です。空気が美味しい、豊かな自然に恵まれて、バスの便も大幅に増えて年寄りには最高の居場所となりました。我が家の住まいはこの辺ではちよっと風変わり、能登外浦の様式です。私の山岳部時代の友人が設計事務所をやっていること、能登の知人の同級生が工務店を営んでいることが重なって、思い通りに建てることができました。私の趣味は登山ですが、高校時代から山岳部に入り、大学では「山岳部」に入るな」との亡父の指示に背き、入学式が終わったら部の扉を叩いていた親不孝者でした。それから数十年、お陰様で山ではかすり傷一つ負わずに楽しみました。アイガー北壁初登攀者ハイムリッヒ・ハーラーの著書「セプンイヤーズ・イン・チベット」とは大違いですが、私も定年退職後に「セブン・サマーズ・イン・アルプス」の楽しみを家内に許して貰い、ガイドレスではなかったものの幾つかの頂上に立ちました。その内に変形性関節炎が進行して、山どころではなくなりましたが、敬愛するスキーインストラクター久慈直子さんの懇切かつ執拗な勧めで、人工関節置換手術に踏み切った結果、関節痛は雲散霧消して、今もスキーを楽しめる膝になりました。このように勝手気ままに、地域にはなんのお役に立ってない私共ですが、よろしくお願ひいたします。